



柴高通信



宮城県
柴田高等学校
2026.4.14
第1号

第41回入学式が行われました

4月8日(水)、本校体育館において、令和8年度第41回入学式を挙行し、102名の新入生を迎えました。多くのご来賓および保護者の皆様のご臨席のもと、厳粛で温かな雰囲気の中で式が行われました。

式では、山口勝弘校長が校訓「自律・敬愛」「英知・創造」「忍耐・強靱」をもとに、**他者を思いやり、自ら学び続ける姿勢と、困難に粘り強く向き合う大切さ**について新入生に語りかけました。また、変化の激しい社会の中で主体的に考え行動する力の必要性に触れ、**夢や目標を大切に努力してほしい**と期待を寄せました。



新入生宣言
(発言要旨)

新入生を代表して、これからの三年間を**充実したもの**にしていきたくと考えています。

新しい環境への不安もありますが、新たな仲間や学びとの出会いを大切に、さまざまなことに**積極的に挑戦**していきたいと思えます。

特に部活動や学習に**主体的に取り組む**とともに、日々の授業や基本的な生活態度を大切に、**自らを律して**いきます。

また、これまで支えてくれた方々への**感謝の気持ち**を忘れず、仲間とともに成長していくことを誓います。

新入生代表
高橋優斗さん
(右沼中出身)

令和8年度 柴田高校 学校経営方針と重点目標

～ チーム柴田 41年目のさらなる挑戦 ～

柴田高校は今年で創立41年目を迎えます。これまでの伝統を大切にしながら、生徒一人ひとりが「学ぶ意味」を実感し、「将来につながる学校生活」を送ることができる学校づくりを進めていきます。

本校では、学びを通して自らの将来を考え、社会の一員として主体的に生きていく力を育むことを大切にしています。そのために、次のような学校づくりを目指します。

◎学校がめざす方向

・魅力と活力のある学校に

学ぶことに意味を見出し、意欲的に取り組める環境を整えます。

・夢の実現に挑む学校に

あきらめない志を大切に、一人ひとりが自分の進路に向かって努力できる力を育てます。

・地域に根ざした学校に

地域社会との連携を深め、信頼され、愛される学校づくりを進めます。

・自律的に行動できる学校に

指示を待つのではなく、自ら考え、選択し、行動できる力を育てていきます。

◎令和8年度 重点目標

① 豊かな人間性の育成

基本的な生活習慣の確立を図るとともに、学校生活の中で良好な人間関係を築きます。また、学校行事や部活動、生徒会活動などを通して、互いに関わり支え合う力を育てます。

② 学習習慣の定着と学力の向上

日々の授業を大切に、学習習慣の定着を図ります。一人ひとりの学力に応じた指導を行い、基礎から発展まで幅広く学力向上を目指します。

③ 進路指導の充実と夢の実現

早い段階から進路意識を高め、目標に向けて計画的に取り組む力を育てます。また、社会的・職業的自立に必要な力を育むキャリア教育を推進します。

④ 魅力ある学校づくりの推進

地域や大学との連携を深めるとともに、学校の魅力を積極的に発信します。ICT機器の活用やサマータイム制の導入により、次代を生きる力の育成を図ります。

⑤ 教職員の働き方改革の推進

教職員同士が連携し、教育力の向上を図るとともに、業務の効率化を進めます。働きやすい環境づくりを通して、より質の高い教育の実現を目指します。

全国2位の快挙！ 高橋虹心さん（金ヶ瀬中）インタビュー ——「日本一、そして世界一へ」——



第41回全国高等学校選抜ウエイトリフティング大会において、本校の高橋虹心さんが男子56kg級で見事第2位に輝きました。

日々の努力を積み重ねてつかんだこの結果。その裏にはどのような思いや挑戦があったのでしょうか。

大会を振り返っての気持ちや、競技への思い、そしてこれからの目標について話を聞きました。

金沢市総合体育館
(石川県金沢市)
令和8年3月26日

★競技との出会いと魅力★

ウエイトリフティングを始めたきっかけは、野球チームの監督に勧められたことです。体験を重ねるごとに、この競技への気持ちがどんどん高まっていきました。

この競技の魅力は、**やった分の努力が重量に表れて、成長が目に見えて分かる**ところだと思います。



★全国選抜2位という結果★

今回、初めてメダルを取ることができてうれしい気持ちもありますが、**金メダルを取れなかった悔しさ**もあります。

大会前は、元顧問の佐藤隆行先生に**“絶対メダルをかけてあげる”**という気持ちで臨んでいました。特に印象に残っているのは、クリーン&ジャーク2本目の121kgの試技です。



★努力の積み重ねと成長★

今回の結果につながったのは、去年の選抜大会やインターハイ、国体といった全国の舞台を経験して、**少し視野が広がった**ことだと思います。一方で、**パワー不足やフォームの安定性**には課題を感じています。普段の練習では、**チームの雰囲気**を大切にすることと、それぞれの**メニューの意味を理解**することを意識しています。

きついときは、ライバル選手のことを思い浮かべて、気持ちを入れ直しています。

自分の強みは、**体勢を崩しても立て直せる粘り強さと、身体のパネを使える**ところだと思います。これまでで一番苦しかったのは、去年の選抜からインターハイまでの期間です。大会も練習もうまくいかない中で、先生やコーチ、先輩、仲間を信じて、**諦めずに続けてきました**。



★支えと学校生活★

ここまで頑張ってきたのは、**周囲の人たちからの応援一つ一つ**があったからです。尊敬しているのは、**佐藤隆行先生**です。

競技と勉強の両立では、**質の良いものを効率的に行う**ことを意識しています。学校生活では、**“楽しさ”**を大切にしています。

★高校総体、そしてその先へ★

高校総体の目標は、**日本一**です。これまでにないくらい完璧な試技をして、**高校記録の更新**を目指したいです。今は、上半身のパワー強化に特に力を入れています。

将来の夢は、**世界一**です。これからも、より高いレベルの舞台で結果を残し続けていきたいと思っています。



★メッセージ★

後輩のみなさんへ。**意識を高く持って継続することで、必ず強くなれる**と思います。一緒に頑張りましょう。応援してくれている方々へ。**期待に応えられるよう、これからももっと頑張ります**ので、応援よろしくお願いします。